

愛知大学 3つのポリシー (2020年度向け)

■文学部 心理学科

学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

文学部心理学科では、カリキュラム・ポリシーに従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、実験・調査を行い、得られたデータの分析と解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで、テーマ発掘力、実験あるいは調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力が養われたかを確認します。

教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)

文学部心理学科では、心理学研究の知見に基づき、理論的かつ批判的にものごとを分析・思考する能力を有し、それぞれの職域において指導的な立場に立って、企画構想、問題解決の実践を行い、国際的教養と視野をもって「世界文化と平和」へ貢献しうる人材の育成をめざしています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。

- (1) コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の分野による共通教育科目を設けます。
- (2) 1年次生の専門教育科目では、全員が履修する「文学部総合研究」により文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡すことで心理学を専攻する学生としての広い視野を得ます。それに加えて心理学科の導入科目として「入門講義(心理学)」および「入門演習(心理学)」、「心理学概論」が必修となっています。また、人文社会科学各コースの「入門講義」(2科目選択可)および「入門演習」(1科目選択可)を学部選択必修科目として設け、関心のある文学部の他の専攻の学問領域に触れる機会が提供されています。2年次以降の主要な専門教育科目として、心理学を基礎から応用に至るまで体系的に学ぶための演習などの学科必修科目と講義などの学科選択科目を履修します。
- (3) 公認心理師取得希望の学生は、公認心理師の取得に必要な諸科目を履修できます。

入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

文学部心理学科では、社会的諸事象に対して、心理学研究の知見に基づき論理的かつ批判的に分析・思考する能力を有し、さらにそれぞれの職域において指導的立場に立って、企画構想、問題解決などの実践を行なうことができる人材を育成します。こうした観点から文学部心理学科では、求める学生像を以下のように考えています。

《求める学生像》

- (1) [一般入試] 高等学校の各教科、とりわけ国語、外国語、公民、数学、生物、地理歴史について基本的学力を有しており、応用、発展的内容の学習へ進む準備ができています。
[推薦入試] 高等学校段階の各教科の基本的内容について学習、理解しており、大学における教育・学習に支障なく移行、適応できる学力を有している人。
- (2) 人間の様々な営みと活動について多様な興味や関心を抱いており、個、集団、地域などの観点から、あるいは過去、あるいは現在について観察、考察し、さらに未来を展望することに魅力を感じている人。また、そのための新たな、より高度な知識や分析手法を習得したいという意欲のある人。
- (3) 大学において学習、習得した心理学の専門的知識、視座、研究方法と広義のリテラシー能力、コミュニケーション能力を、将来自己の人生、職業、社会貢献などに活かしていきたいという意思を有する人。